

170 トキソプラズマ病（めん羊・山羊）〔届〕

担当	検 査 チ ャ ー ト
家畜保健衛生所	(1) 疫学調査 (2) 臨床検査 (死亡畜、流死産胎子) → (3) 剖検 (3) 剖検 肺、脳、リンパ節 (4) 簡易原虫検査 (+) (-)
病性鑑定施設	(5) 動物接種試験 (6) 病理組織検査 (7) 免疫組織化学検査 (+) (-) (+) (-)
判定・結果	(+) (-) (+) (-) (+) (-)
最終判定	疫学調査、臨床検査の結果を基に、剖検、簡易原虫検査の結果により本病とする。
その他	

→類似疾病検査

めん羊：流死産時 ① クラミジア感染症 ② カンピロバクター感染症 ③ 159 ブルセラ病

山羊：ウイルスおよび細菌感染症による熱性疾病

○ 病原体: *Toxoplasma gondii*

(1) 疫学調査

- ① 発生前の放牧の有無
- ② 散発的、ときに集団的に発生
- ③ 畜舎周辺に猫やネズミの出入りがある。

(2) 臨床検査

(めん羊)

流死産

(山羊)

- ① 発熱(40℃以上の稽留熱)
- ② 一般症状の悪化
- ③ 下痢
- ④ 咳、呼吸困難(腹式呼吸)
- ⑤ 歩様蹣跚、起立不能

(3) 剖 検

(めん羊)

- ① 胎子の全身性浮腫
- ② 脳の点状出血

(山羊)

- ① 肺は淡紅色～橙色を呈し、大葉性水腫、割面には多量の漿液を含み、ときに出血斑または白色壊死斑
- ② リンパ節の腫大、硬結、出血および広範囲の壊死
- ③ 肝臓の混濁腫脹、針頭大～肝小葉大の壊死巣または出血点
- ④ 腎臓の点状出血
- ⑤ 腸粘膜の潮紅、び爛、潰瘍、ときに出血

(4) 簡易原虫検査

(肺、リンパ節、脳等の病変を材料とする。)

- ① ギムザ染色
- ② 蛍光抗体法

(5) 動物接種試験

材料：肺、リンパ節等(病変部周囲)

方法：マウス腹腔内接種(3～5匹使用)

成績：発症(10日前後)マウスの腹水検査

無発症の場合は脳内シストの検査(1ヵ月後)

(6) 病理組織検査

(めん羊)

脳の壊死部周辺のグリア結節や白血球集簇

(山羊)

- ① リンパ節、脾臓のリンパ組織の壊死、細網細胞の腫大増殖
- ② 肝臓の多発性小壊死巣
- ③ 漿液性、増殖性間質性肺炎
- ④ 非化膿性脳炎(グリア結節の散在、巣状壊死)

(7) 免疫組織化学検査

病変部にトキソプラズマ抗原を検出する。